

民間主導で高台住宅地の造成

アサヒ住宅が挑む 災害に強い街づくり

4年前の東日本大震災、先月の茨城県常総市での洪水被害など各地を襲った災害。ここ東紀州でも、大きな被害が想定されている南海トラフ巨大地震。標高が低い尾鷲市では、津波からの避難が長年の課題となっています。そこで、災害に強い、安心



尾鷲・高台分譲地「ラポール新田町」
※10/3(土)4(日)特別内覧会開催
詳しくは、裏表紙をチェック!

して暮らせる街づくりをしたいと、高台分譲に取り組んでいるのが、創業62年を迎える同市のアサヒ住宅です。既に尾鷲市光が丘や泉町、坂場西町、熊野市久生屋町などに高台分譲地を開発。多くの人が移住し、空き区画も残りわずか。現在も、尾鷲市新田町や紀宝町などに分譲地を開発中。社長に高台分譲にかかる想いを伺うと、「お客様目線で喜ばれることを考えたら、安心して暮らせる高台の住宅に至りました。周辺環境など暮らしやすさも考慮し、家を土地からデザインしたいので」と話す。きっかけは、アサヒ

住宅の前身「やまひろ」を創業したお母様が東日本大震災と同時期に亡くなったことだという。自分に課された使命を感じた社長は、これまでに以上に東紀州全体を「住みたい!」と思える地域価値の高い街にするべく、高台分譲に積極的に取り組むように。私たちの生活は、こうした地元企業の熱い想いによって支えられているのですね。



(株)アサヒ住宅
山下雅史社長

【問合せ】株式会社アサヒ住宅
尾鷲市南陽町9-37
TEL 0597-22-2433